

募集要項の一部について（代案）

3) 整備する施設の概要

(2) 整備する施設規模の見込み

	現印西クリーンセンター	次期中間処理施設
ごみ焼却施設の規模	300 t / 日	156 t / 日程度
リサイクルセンターの規模	50 t / 日	15 t / 日程度

※各施設の規模は、印西地区ごみ処理基本計画検討委員会が決定した平成40年度における減量目標ごみ量を基に見込んでいますが、実際の整備に当たっては施設整備時の直近の実績処理量及び将来推計ごみ量を基に最終調整します。

※ごみ焼却施設は24時間連続運転、リサイクルセンターは1日5時間運転を想定しています。

施設規模の見込みについて

1. 算定の基礎

ごみ処理施設整備の計画・設計要項 2006 改訂版 (社) 全国都市清掃会議

2. ごみ焼却施設の規模

日平均処理量 ÷ 実稼働率 ÷ 調整稼働率 = 施設規模 (t / 日)

日平均処理量 : 年間処理量 (41,893.96 t) の日量換算値

※年間処理量は、印西地区ごみ処理基本計画検討委員会が算出した平成40年度の減量目標達成時における焼却対象年間ごみ量。

実稼働率 : 補修整備期間等によって、年間85日間の稼働停止日数が見込まれることから、稼働日数は年間280日間(365日-85日)となり、実稼働率は280日 ÷ 365日 ≒ 0.767となる。

調整稼働率 : 故障修理など一時停止(約15日間を想定)により能力低下することを考慮した係数として0.96

算定 41,893.96 t ÷ 365日 ÷ 0.767 ÷ 0.96 ≒ 156 t / 日

3. リサイクルセンターの規模

日平均処理量 ÷ 実稼働率 = 施設規模 (t / 日)

日平均処理量 : 年間処理量 (3,389.07 t) の日量換算値

※年間処理量は、印西地区ごみ処理基本計画検討委員会が算出した平成40年度の減量目標達成時における破碎・選別対象年間ごみ量。

実稼働率 : 稼働日数は、月曜から金曜であり(土日、祝日、年末年始を除く)年間246日間となり、実稼働率は246日 ÷ 365日 ≒ 0.673となる。

調整稼働率 : 故障修理など一時停止(約15日間を想定)により能力低下することを考慮した係数として0.96

算定 3,389.07 t ÷ 365日 ÷ 0.673 ÷ 0.96 ≒ 15 t / 日

4. 注記

上記により算定したごみ焼却施設及びリサイクルセンターの規模は、施設整備時の直近の実績処理量を基に最終調整することから、現時点ではあくまでも見込みである。

よって、各施設の規模見込みは表現として「程度」を加える。

ごみ焼却施設の規模見込み : 156 t / 日程度

リサイクルセンターの規模見込み : 15 t / 日程度